

## 【単元構造図】

### 単元の課題

ヤマト王権形成から律令国家成立までの歴史の流れと時代の特色を、適切な資料を活用して、大陸との関係に着目しながらとらえよう。

#### 知識・技能の習得

〈第1時、第2時〉  
ヤマト王権の日本統一から  
律令国家の成立まで

教科書の本文や資料から、ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを、大陸との関係に着目して大きくとらえ、説明する。

#### 知識・技能の活用

〈第3時〉  
追究～歴史の“もしも”を考えよう①～

この時代で最も重要と思われる出来事に着目し、その意義を考えることで、時代の特色をとらえる。

### 単元の到達目標

ヤマト王権の形成から律令国家成立までの歴史の流れと時代の特色を、大陸との関係を背景に説明できるようにする。

本時の目標：教科書の本文や資料から、ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを、大陸との関係に着目して大きくとらえ、説明できるようにする。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問

ヤマト王権は、どのようにして日本を統一し、律令国家にしていたのでしょうか。

☞キーワード(予習)

古墳(前方後円墳)、ヤマト王権、大王、豪族、古墳時代、高句麗、百濟、新羅、伽耶、南朝、渡来人、須恵器、漢字、儒教、仏教など

☞ワンポイントアドバイス

◇情報を「気付きメモ」に記入  
一特に重要なものについては、意味や内容も確認

プロセス2：仮説立案と検証

各自のもつ情報から、仮説を立てる(仮説立案)

読取

☞資料：教科書p.30~35, p.54~55



各自の仮説について、資料で確認する(検証)

解釈

☞ワンポイントアドバイス

◇教科書の本文や資料から情報収集  
◇とらえる視点「国内の様子・出来事」「大陸の様子・出来事」「交流・対立の様子」

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い、全体場で発表する(交流)

説明

☞ワンポイントアドバイス

◇他者が納得できる説明(根拠が大事)  
◇他者の説明をしっかりとメモ(参考に)



自分の意見を見直す(知識の再構築)

解釈

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる(一般化)、振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる(発展)

例) 律令国家が成立した後の日本は、どのようになっていたのだろう。

《一般化》

ヤマト王権は、5世紀後半に日本をほぼ統一した。その後、蘇我氏など豪族の力が強まったため、聖徳太子が天皇中心の国づくりを目指し、天智天皇の大化の改新を経て大宝律令が定められ、律令国家が成立した。その間、渡来人や遣隋使・遣唐使によって、中国や朝鮮の国々から進んだ制度や技術・文化を手に入れ、それらの国々に対抗しようとした。

生徒がめざす姿(評価規準)

<関心・意欲・態度>

○複数の情報を資料から読み取り、ノートに書いている。

<思考・判断・表現>

○自分の意見を、根拠を示しながら具体的に説明している。

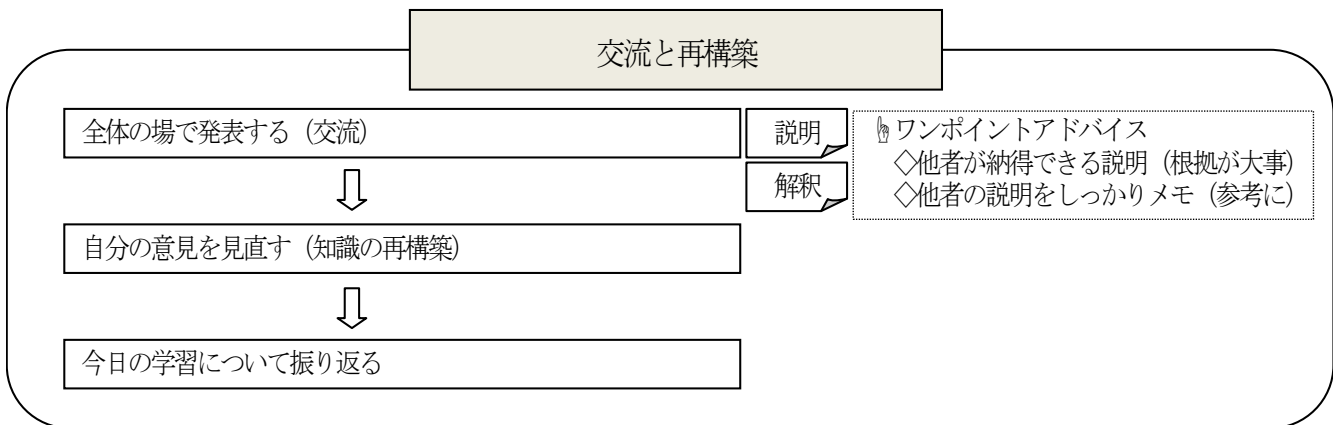
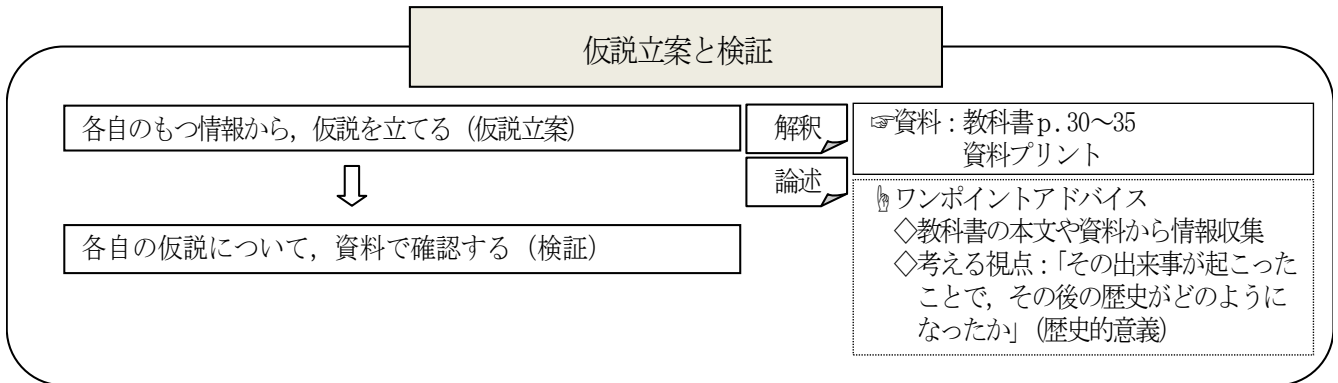
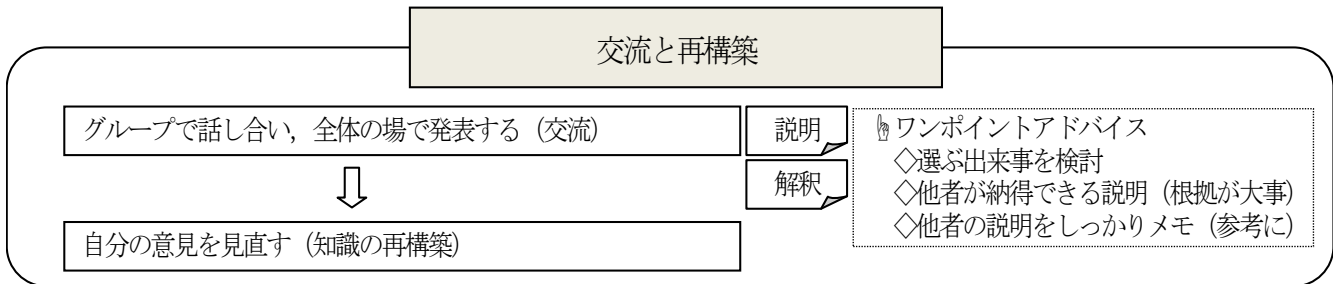
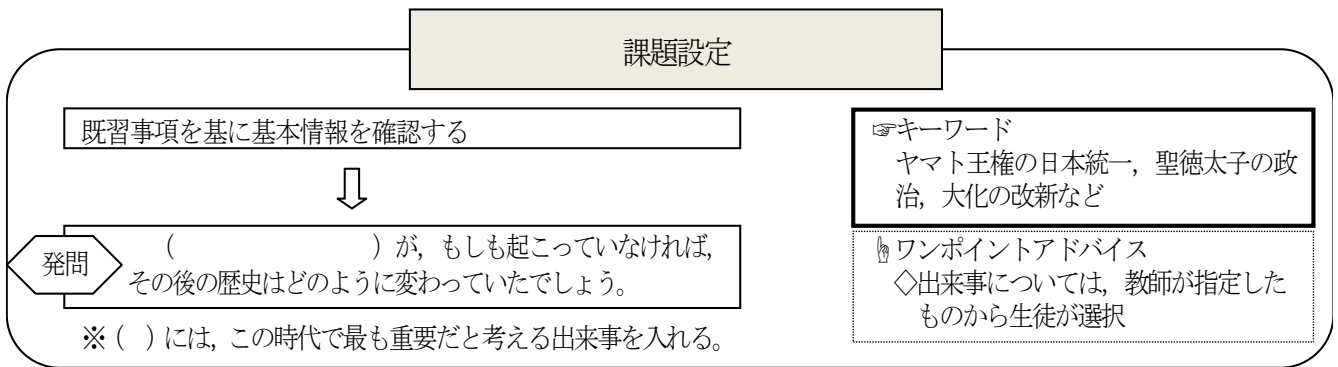
<資料活用の技能>

○教科書本文や資料から、ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを、大陸との関係に着目して読み取っている。

<知識・理解>

○ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れをとらえ、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。

本時の目標：この時代で最も重要と思われる出来事に着目し、その意義を考えることで、時代の特徴をとらえることができるようにする。



生徒がめざす姿（評価規準）

<p>&lt;関心・意欲・態度&gt; ○既習事項や資料の情報を基に、その時代を特徴付ける出来事を選び、追究している。</p>	<p>&lt;思考・判断・表現&gt; ○その時代を特徴付ける出来事について、その歴史的意義を考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。</p>	<p>&lt;資料活用の技能&gt; ○教科書の本文や適切な資料を用いて、必要な情報を読み取っている。</p>	<p>&lt;知識・理解&gt; ○日本の古代国家形成についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。</p>
---	--	---	--

## 1年 社会科学習指導案

1. 本時…ヤマト王権の日本統一から律令国家の成立まで（第1時，第2時）
2. 本時の目標…教科書の本文や資料から，ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを，大陸との関係に着目してとらえ，説明できるようにする。
3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
資料 活用 の 技能	教科書の本文や資料から，ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを，大陸との関係に着目して読み取っている。	律令国家を成立させることで，どのような国づくりを行おうとしたのかについても，具体的に読み取っている。	小学校の既習事項と結び付けることで，「国内の様子・出来事」「大陸の様子・出来事」「交流・対立の様子」について挙げるができるようにする。
知識 理解	ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れをとらえ，その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。	律令国家成立の背景として，天皇と豪族との関係や，ヤマト王権と大陸との関係についても理解し，その知識を正しく使っている。	「日本の統一」「聖徳太子の政治」「大化の改新」のポイントとなる出来事を確認することで，歴史の流れをとらえることができるようにする。

### 4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇)，予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (20分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを，全体で確認する。	○事前学習ができていないか，机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し，特に重要なものについては，意味や内容も確認する。
発問「ヤマト王権は，どのようにして日本を統一し，律令国家にしていっただけでしょう。」			
プロセス2 (30分)	2. ヤマト王権の日本統一から律令国家の成立まで	◇ヤマト王権の日本統一から律令国家の成立までの流れを，「国内の様子・出来事」「大陸の様子・出来事」「交流・対立の様子」の視点で，教科書本文と資料から読み取りまとめる。 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">読取</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</span> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマト王権は，大王を中心に，大和と周辺の有力な豪族で構成されていた。</li> <li>・ヤマト王権は，5世紀後半には，九州北部から関東地方まで支配していた。</li> <li>・5世紀ごろ，中国には南朝と北朝，朝鮮半島は高句麗，百濟，新羅，伽耶があった。</li> <li>・渡来人によって，大陸の土木・建築や須恵器を作る技術，漢字，仏教などが伝わった。</li> <li>・蘇我氏などの豪族が権力をもった。</li> <li>・聖徳太子は，天皇中心の国をつくるため，冠位十二階や十七条の憲法を制定した。</li> </ul>	○まとめるためのワークシートを準備する。 ○本文をそのまま抜き出すのではなく，キーワードを意識して，必要な部分を箇条書きでまとめる。 *小学校の既習事項と結び付けることで，「国内の様子・出来事」「大陸の様子・出来事」「交流・対立の様子」について挙げるができるようにする。  【資料活用の技能】 教科書の本文や資料から，ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを，大陸との関係に着目して読み取っている。(ワークシート)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国は6世紀末に隋が統一し、その滅亡後に唐が治めた。</li> <li>・隋や唐では、律令という法律がつけられた。</li> <li>・朝鮮では新羅が力を増し、伽耶、百済、高句麗を滅ぼした。</li> <li>・ヤマト王権は、遣隋使を通じて、中国の進んだ文化や制度を取り入れた。</li> <li>・中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足（藤原鎌足）が蘇我氏を滅ぼし、大化の改新を行った。</li> <li>・公地公民とし、律令を定めた。</li> <li>・白村江の戦いで、ヤマト王権は唐と新羅の連合軍に敗北した。</li> <li>・遣唐使を送った。</li> </ul>	
<p>プロセス3 (35分)</p>	<p>3. 情報の確認</p>	<p>◇各自が読み取った情報をグループで交流し、確認してまとめる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">説明</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解釈</span></p> <p>◇各グループで確認した情報とまとめについて、全体の場で交流する。</p>	<p>○資料を用いて説明するようにする。</p> <p>○自分の説明と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。</p> <p>*「日本の統一」「聖徳太子の政治」「大化の改新」のポイントとなる出来事を確認することで、歴史の流れをとらえることができるようにする。</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れをとらえ、その知識を説明や論述のときなどに正しく使っている。(ノート、交流の様子)</p>
<p>プロセス4 (15分)</p>	<p>4. 学習のまとめと課題づくり</p>	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマト王権が、日本を統一し、律令国家をつくるまでの流れがわかった。</li> <li>・ヤマト王権が天皇中心の強い国をつくり、大陸の国々に対抗しようとしていたのがわかった。</li> <li>・天皇中心の国は、この後どれぐらい続いたのだろう。</li> </ul> <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・律令国家が成立した後の日本は、どのようになっていったのだろう。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">&lt;一般化(まとめ)&gt;</p> <p>ヤマト王権は、5世紀後半に日本をほぼ統一した。その後、蘇我氏など豪族の力が強まったため、聖徳太子が天皇中心の国づくりを目指し、天智天皇の大化の改新を経て大宝律令が定められ、律令国家が成立した。その間、渡来人や遣隋使・遣唐使によって、中国や朝鮮の国々から進んだ制度や技術・文化を手に入れ、それらの国々に対抗しようとした。</p> </div> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

5. 板書計画

ヤマト王権の日本統一から律令国家の成立まで (第1時, 第2時)  
p. 30~35, p. 54~55

◎本時の目標  
・教科書の本文や資料から, ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを, 大陸との関係に着目してとらえ, 説明できるようにする。

気付きメモ (キーワード)

学習課題  
ヤマト王権は, どのようにして日本を統一し, 律令国家にしていたのでしょうか。

国内の様子・出来事      交流・対立の様子      大陸の様子・出来事

日本統一

聖徳太子の政治

大化の改新

聖徳太子の政治

大化の改新

【一般化】  
ヤマト王権は, 5世紀後半に日本をほぼ統一した。その後, 蘇我氏など豪族の力が強まったため, 聖徳太子が天皇中心の国づくりを目指し, 天智天皇の大化の改新を経て大宝律令が定められ, 律令国家が成立した。その間, 渡来人や遣隋使・遣唐使によって, 中国や朝鮮の国々から進んだ制度や技術・文化を手に入れ, それらの国々に対抗しようとした。

【学習の振り返り】

《新たな疑問と課題》  
疑問: 天皇中心の国は, この後どれぐらい続いたのだろうか?  
学習課題 律令国家が成立した後の日本は, どのように〜?

6. ノート作成

【ヤマト王権の日本統一から律令国家成立まで】 p. 30~35, 54~55

◎本時の目標  
・教科書の本文や資料から, ヤマト王権の日本統一から律令国家成立までの流れを, 大陸との関係に着目してとらえ, 説明できるようにする。

学習課題  
ヤマト王権は, どのようにして日本を統一し, 律令国家にしていたのでしょうか。

気付きメモ (キーワード)

国内の様子・出来事      交流・対立の様子      大陸の様子・出来事

日本統一

聖徳太子の政治

大化の改新

聖徳太子の政治

大化の改新

(班内の意見から)

必要だと思う意見を付け加える。

(各班の意見から)

必要だと思う意見を付け加える。

【一般化】  
ヤマト王権は, 5世紀後半に日本をほぼ統一した。その後, 蘇我氏など豪族の力が強まったため, 聖徳太子が天皇中心の国づくりを目指し, 天智天皇の大化の改新を経て大宝律令が定められ, 律令国家が成立した。その間, 渡来人や遣隋使・遣唐使によって, 中国や朝鮮の国々から進んだ制度や技術・文化を手に入れ, それらの国々に対抗しようとした。

【学習の振り返り】

《新たな疑問と課題》  
疑問: 天皇中心の国は, この後どれぐらい続いたのだろうか?  
学習課題 律令国家が成立した後の日本は, どのように〜?

## 1年 社会科学習指導案

1. 本時…追究～歴史の“もしも”を考えよう①（第3時）

2. 本時の目標…この時代で最も重要と思われる出来事に着目し、その意義を考えることで、時代の特色をとらえることができるようにする。

3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
関心 意欲 態度	既習事項や資料の情報を基に、その時代を特徴付ける出来事を選び、追究している。	その出来事が時代を特徴付ける理由を、既習事項や資料を基に複数示し、追究している。	既習事項の内容から選択肢を絞り込むことで、時代を特徴付ける出来事を選ぶことができるようにする。
思考 判断 表現	その時代を特徴付ける出来事について、その歴史的意義を考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。	出来事の歴史的意義について、多面的・多角的に考察し、複数の根拠を示して、未来予測をしている。	「その出来事が起こったことで、その後の歴史がどのように変わったか」を確認することで、歴史的意義に気付くことができるようにする。

4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
課題設定 (5分)	1. キーワードの確認	◇既習事項の中から重要な出来事と、それに関わるキーワードを選び、全体で確認する。	○出来事は教師が複数指定し、キーワードを用いて、内容について確認する。
	<p>発問「( )が、もしも起こっていなければ、その後の歴史はどのように変わっていたでしょう。」 ※ ( )には、生徒がこの時代で最も重要だと考える出来事を入れる。</p>		○※については、口頭で説明する。
交流と 再構築 (20分)	2. 出来事を選択	◇最も重要だと考える出来事を選び、選んだ理由についてグループで交流して一つに絞り込む。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">説明</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">解釈</div> ・その後の日本を長い間支配する朝廷が生まれたので、「ヤマト王権の日本統一」を選びました。 ・天皇中心の政治を行うきっかけになったので、「聖徳太子の政治」を選びました。 ・律令国家が成立し、天皇中心の国ができたので、「大化の改新」を選びました。  ◇グループでまとめた意見を、全体の場で発表する。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">説明</div>	○「ヤマト王権の日本統一」「聖徳太子の政治」「大化の改新」の中から選択する。 ○その出来事を選んだ理由を、キーワードを使って説明する。 ＊既習事項の内容から選択肢を絞り込むことで、時代を特徴付ける出来事を選ぶことができるようにする。  【関心・意欲・態度】 既習事項や資料の情報を基に、その時代を特徴付ける出来事を選び、追究している。(交流の様子)

仮説立案 と検証 (15分)	3. 自分の考えの論述	◇グループで選んだ出来事について、自分の考えを文章で論述する。 <b>解釈</b> <b>論述</b> ・もしもヤマト王権が日本を統一していなければ、日本は中国に支配されていたかもしれない。なぜなら～。 ・もしも聖徳太子の政治が行われなければ、大化の改新もなかったかもしれない。なぜなら～。 ・もしも大化の改新が行われていなければ、日本は大陸の国々に負けていたかもしれない。なぜなら～。	○「自分の考え」「その理由」という順に述べること、自分の考えと根拠となるものを明らかにする。 ＊「その出来事が起こったことで、その後の歴史がどのように変わったか」を確認することで、歴史的意義に気付くことができるようにする。 <b>【思考・判断・表現】</b> その時代を特徴付ける出来事について、その歴史的意義を考察し、根拠を示しながら具体的に説明している。(ノート)
交流と 再構築 (10分)	4. 考えの交流と振り返り	◇各自の考えを、全体場で発表する。 <b>説明</b> <b>解釈</b> ◇振り返りを書く。 ・ヤマト王権が日本を統一したことで、日本が大陸の国々から認められる国になっていったことがわかった。 ・聖徳太子が天皇中心の国づくりを進めたことが、律令国家の成立につながっていったことがわかった。 ・大化の改新から、天皇中心の律令国家として日本がまとまったことで、大陸の国々と対抗できるようになっていったことがわかった。	＊「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。

## 5. 板書計画

追究～歴史の“もしも”を考えよう① (第3時) p.30～p.35 ◎本時の目標 ・この時代で最も重要と思われる出来事に着目し、その意義を考えることで、時代の特色をとらえることができるようにする。	〈各班の意見〉 1班： 2班：
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>気付きメモ (キーワード)</b> </div>	
<b>学習課題</b> あなたがこの時代で最も重要だと思う出来事が、もしも起こっていなければ、その後の歴史はどのように変わっていたでしょう。	
◇どの出来事を選びますか？ 〈各自の意見〉 ・ 〈班内の意見〉 ・ 〈班の意見〉 ・	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>【学習の振り返り】</b> </div>	